

## 目標達成計画

事業所名 グループホームあすか

作成日： 令和 5年 3月 29日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	35	【災害対策】 BCPの策定が不十分 ・内容を施設の状態に合わせた策定 ・備蓄品などがどの災害を予測しているのか等実態にあっていない。	BCP計画の策定をし、再来年度(令和6年度)からBCMが行える状態にする。	①BCPひな形をベースにBCP策定研修で得た知識・情報を元に当施設に合わせ作成する。 ②備蓄品など様々な災害に合わせ検討する。	1年
2	33	【重度化や終末期に向けた方針の共有と支援】 重度化及び看取りの体制が不十分 ・新たに医療連携先となった病院と体制が構築中である。 ・重要事項説明書に重度化と看取りの説明の両方が記載されていない。	重度化及び看取り体制の構築を行う。	①重要事項説明書の記載内容の検討。 ②医療連携先との体制の協議。	1年
3	6	【虐待の防止の徹底】 市の身体拘束の指針に基づき、施設独自の点検表にて定期点検を行っているが、スピーチロックの定期点検の項目が無い。	スピーチロックの定期点検を入れる事で、職員の意識をさらに向上する(見える化)。	①身体拘束未実施委員会にて今回指摘を受けた問題点にて協議を行う。 ②上記の結果を踏まえ、点検表を改善する。	1年
4	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 ヒヤリハットの改善案及び、事故報告書に対するその後の経過がわかりにくい。(現状としてはモニタリング、必要に応じてケアプランの変更となっているが、経過として一枚にまとまっていると周知しやすい。)	改善案及び、経過観察の経過の周知をしやすくなる。	①ヒヤリハット及び事故報告書の改善。 ②改善した経緯、目的及び使用方法を職員に周知する。	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。